

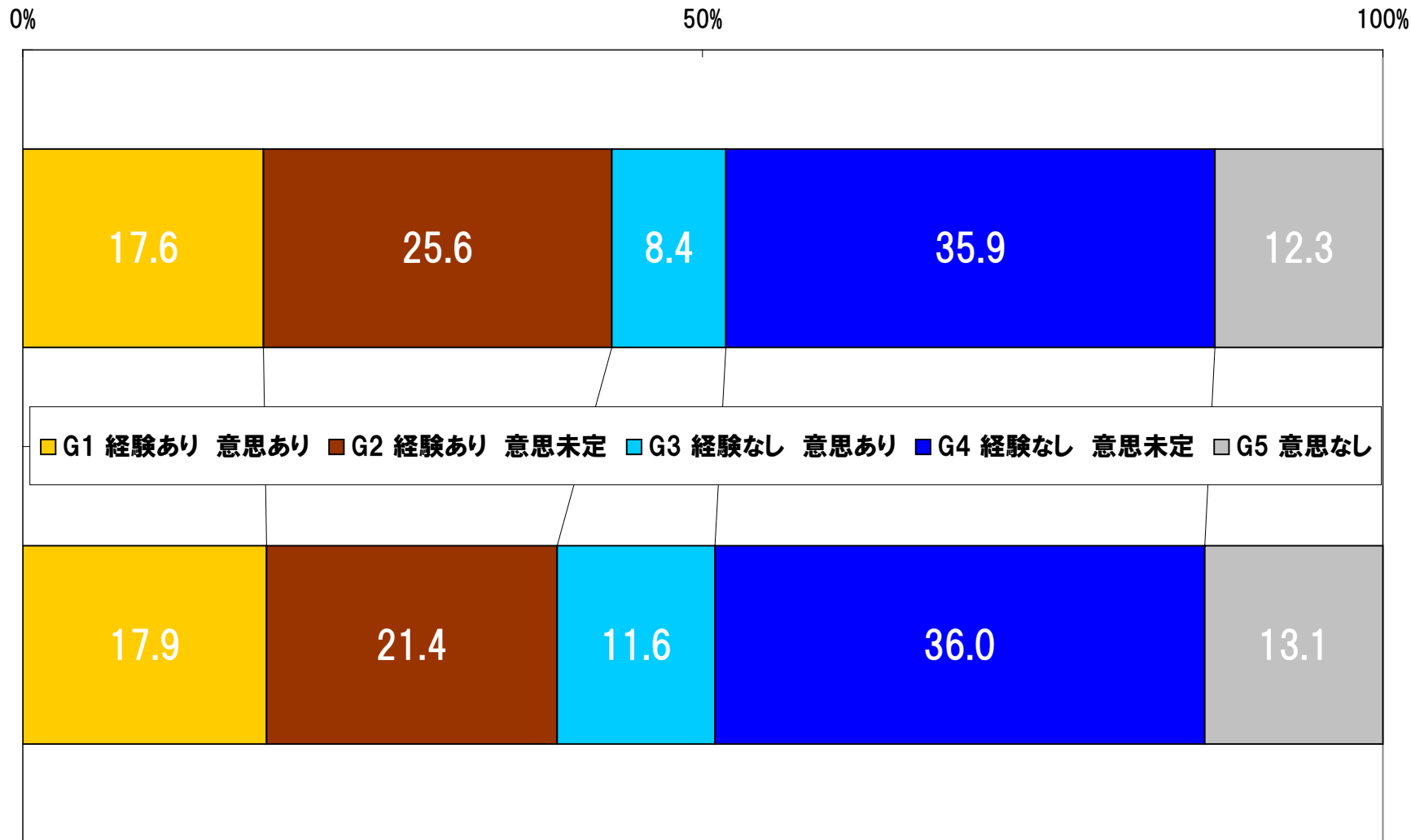
上智卒業生調査2009:まとめ

ソフィア会
卒業生意識調査少委員会

調査の概要

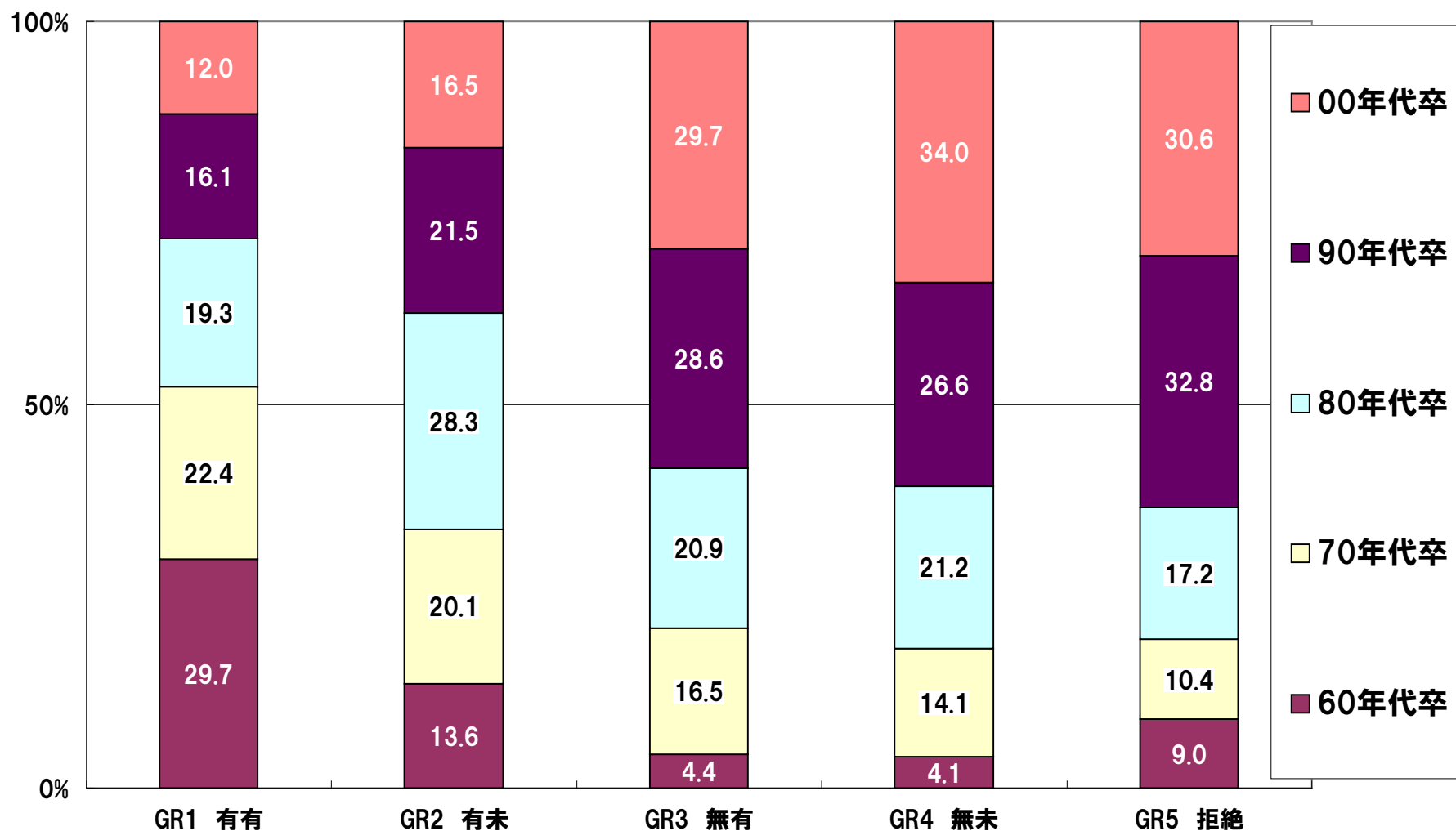
- 方法：卒業生へのメールアンケート
 - メールアドレス全員分へ配信
 - 回答を卒業生分布で補正
- 回答数：1088名
- 調査実施期間：2009年11月
- 調査実施者：上智学院
- 調査会社：CSK
- 集計会社：MSC

卒業生募金意識別グループ構成比較



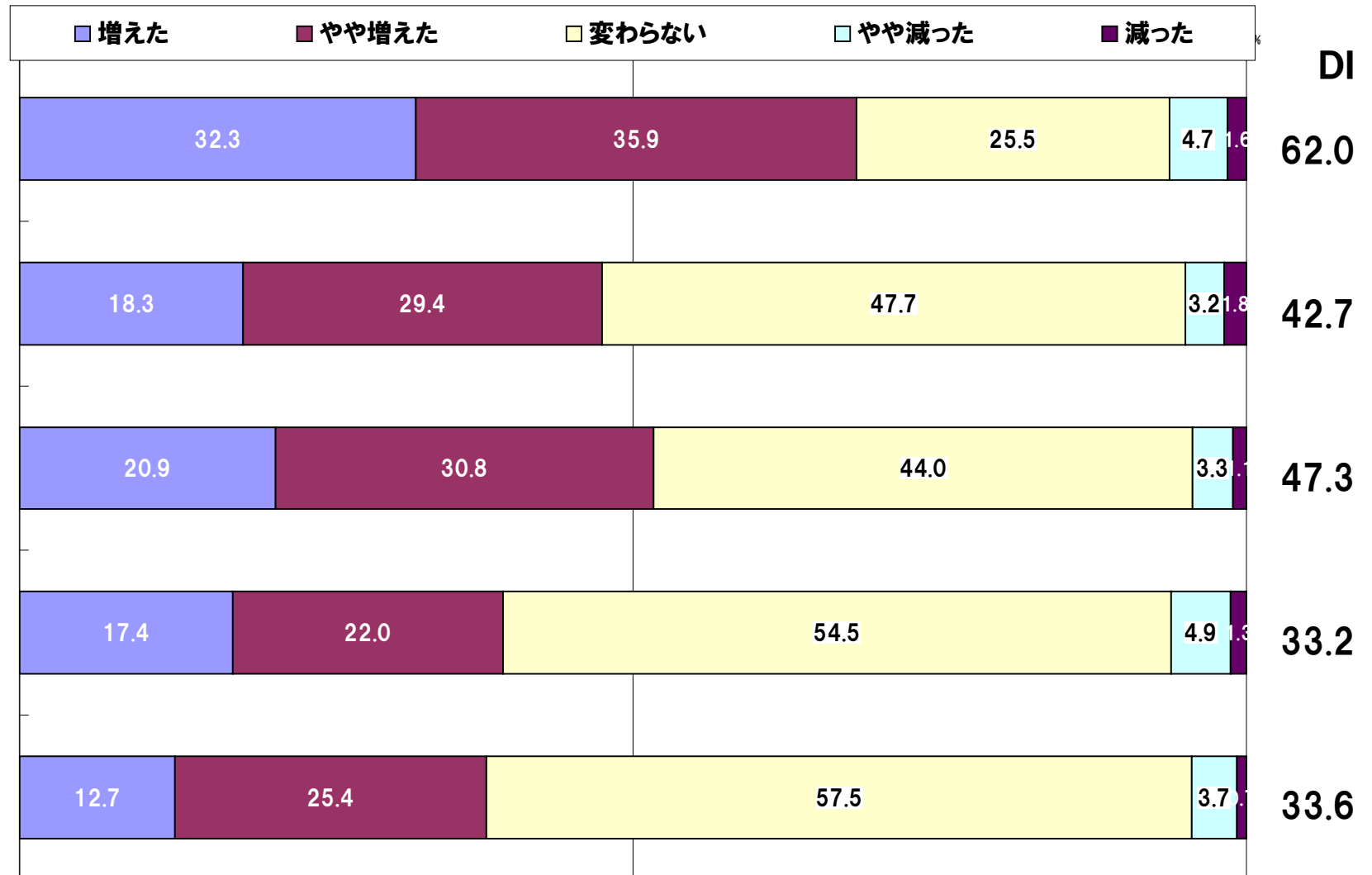
今回2009年11月調査の結果、募金意識別の分類は2年前2007年調査から変化が見られ、グループ2即ち、募金経験はあるが意思が未定の卒業生が増加し、一方グループ3募金経験は無いがこれからの募金意思有りというグループが減少している。募金者は増えたといえるが今後の意思が低下している。

グループ別卒年構成



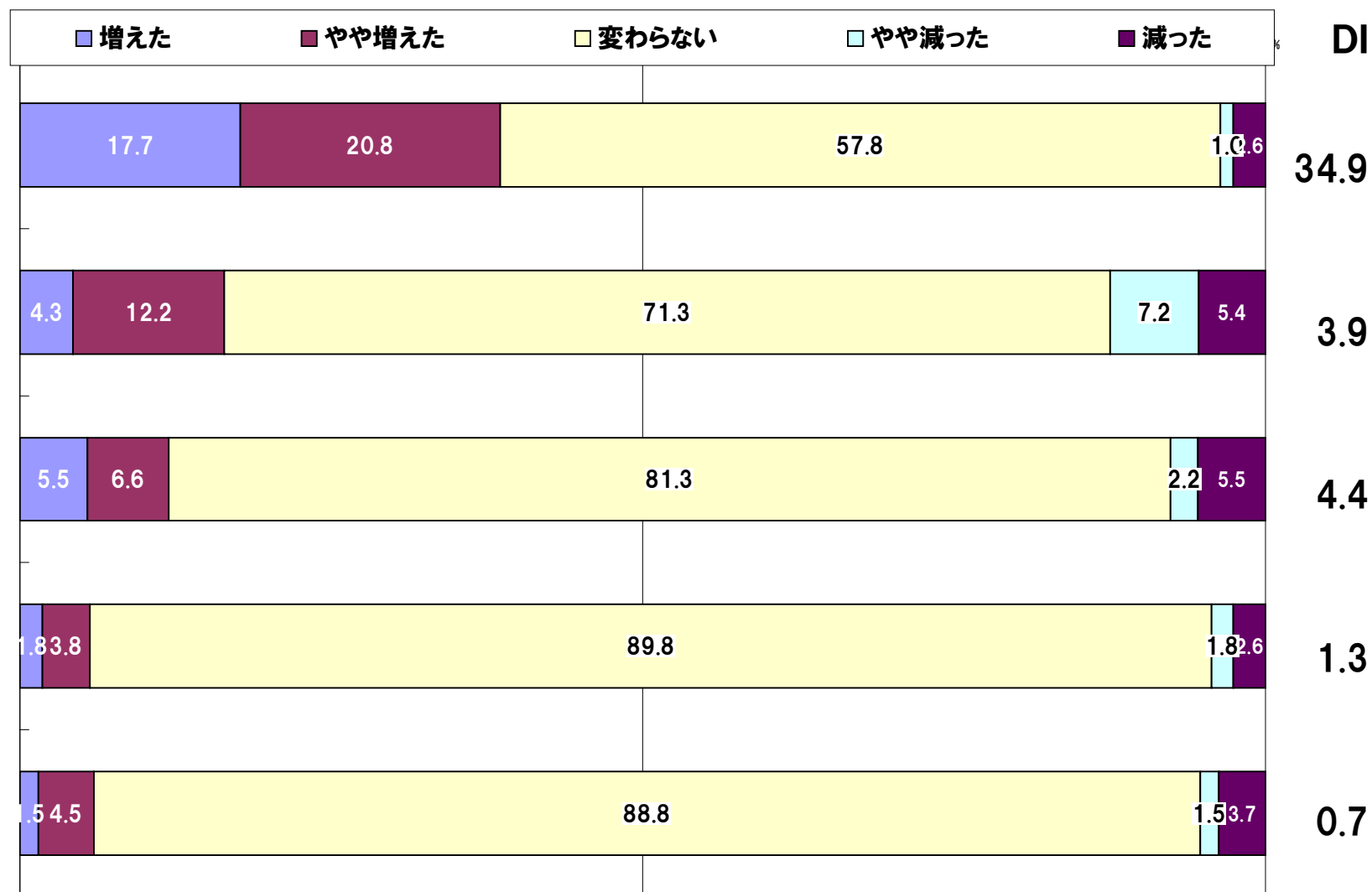
グループ別の卒年構成はグループ1は60年代中心、グループ2が80年代中心、グループ3、4、5は90年代、00年代中心のグループである。

グループ別 Q1. この一年あなたに届いたソフィア会関連の情報量は以前と比べて…



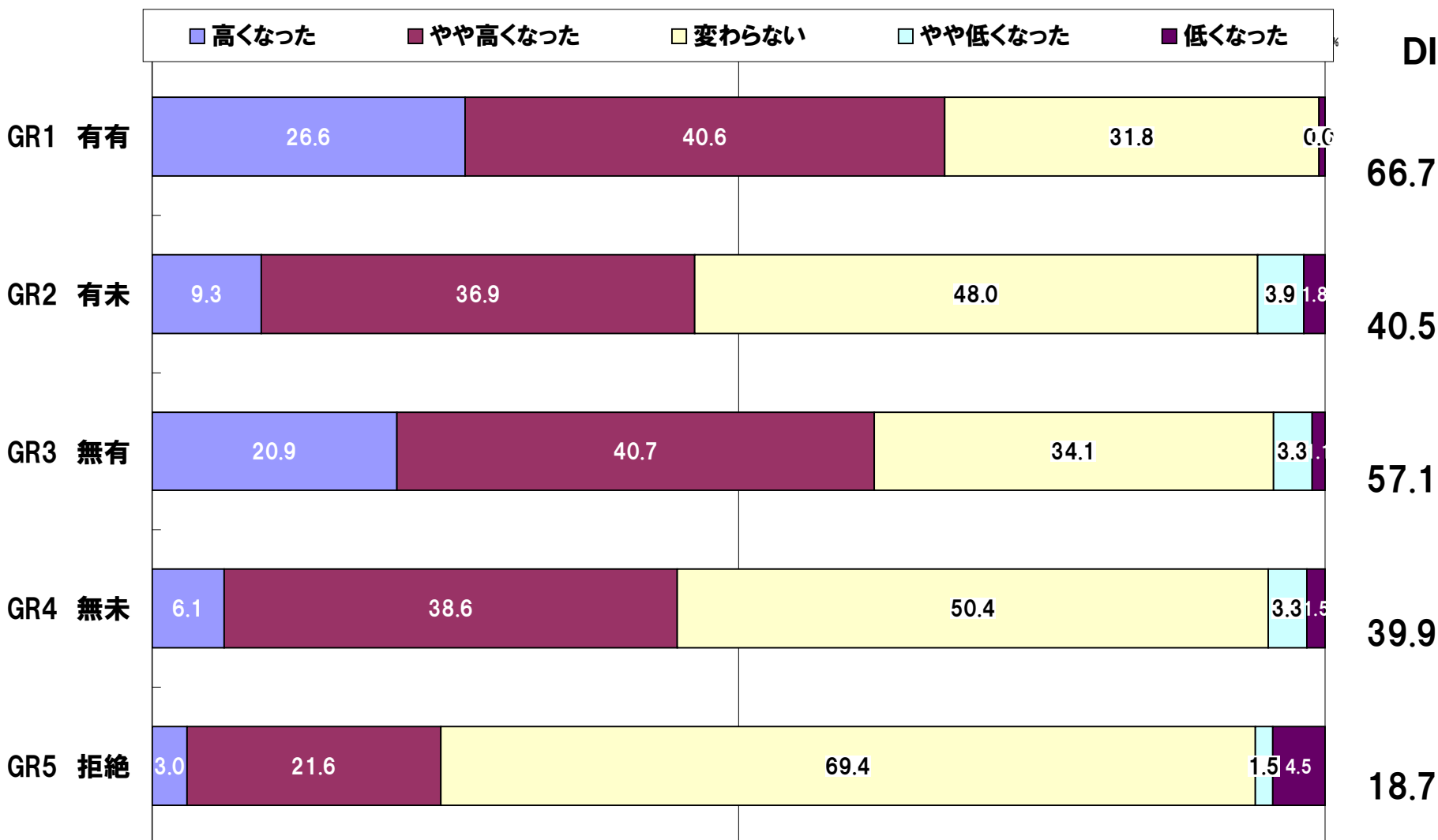
情報量の評価においてグループ1は、突出している。ほかのグループもDI(プラスからマイナスを引いた増減判断インデックス)はプラス33～42と増加の方向に大きく振れている。情報量が増えていると全層に評価されている。

グループ別 Q2 この一年あなたご自身のソフィア会活動への参加は以前と比べて…



参加の評価においてもグループ1は突出している。しかし、ほかのグループはDI(プラスからマイナスを引いた増減判断インデックス)は殆ど変化がない、グループ1以外は参加の増加の意識は殆どない。

グループ別 Q3 この一年あなたご自身のソフィア会への関心は以前と比べて…

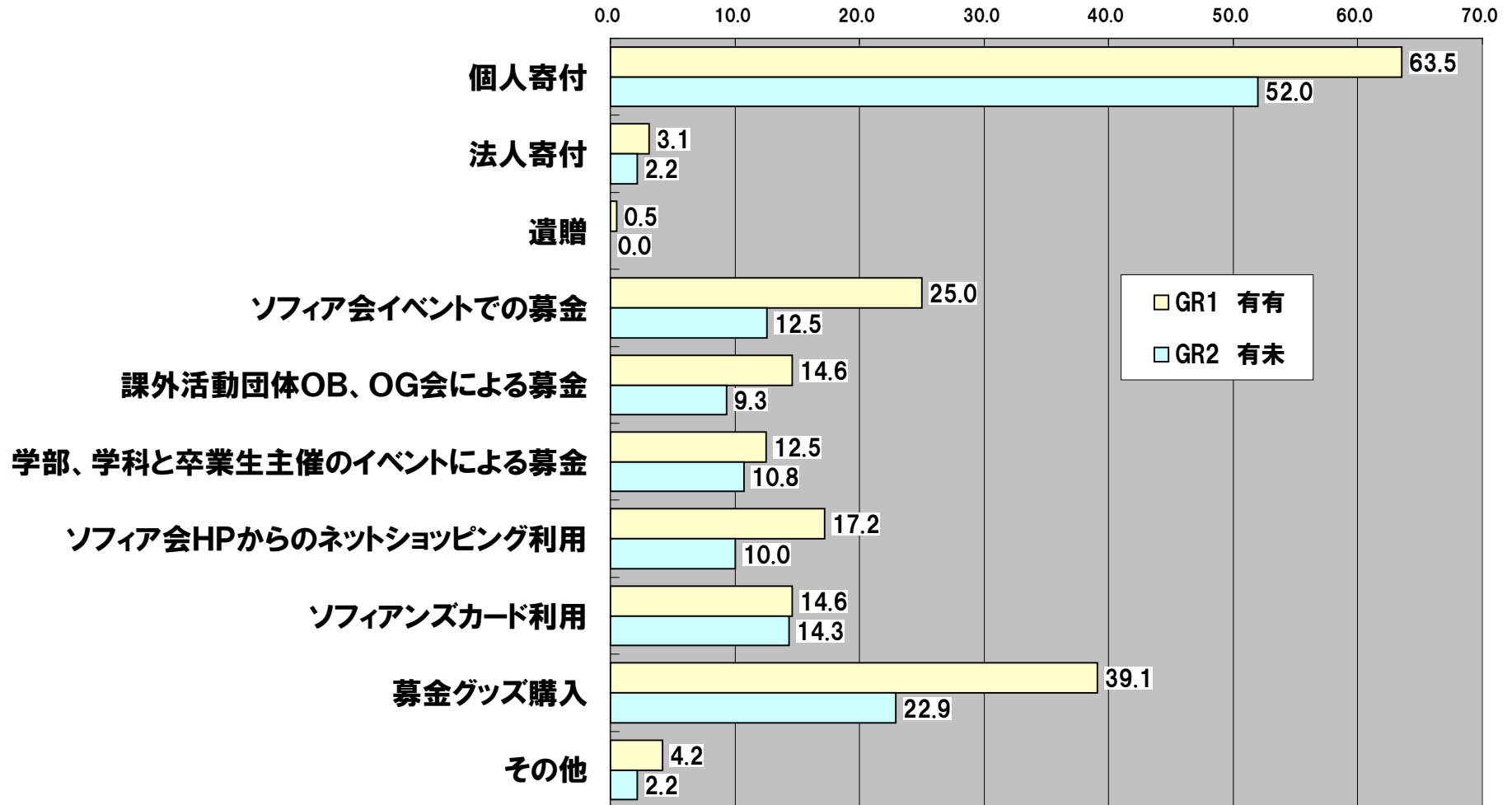


関心の評価ではグループ1とグループ3を中心に全層で関心が高くなったと評価されている。しかしながら、グループ2のDI(プラスからマイナスを引いた増減判断インデックス)がグループ1や3と比較して低いのは問題である。さらに、グループ3の関心の増加に参加に結び付けられていないのも課題である。



Q28 参加募金タイプ

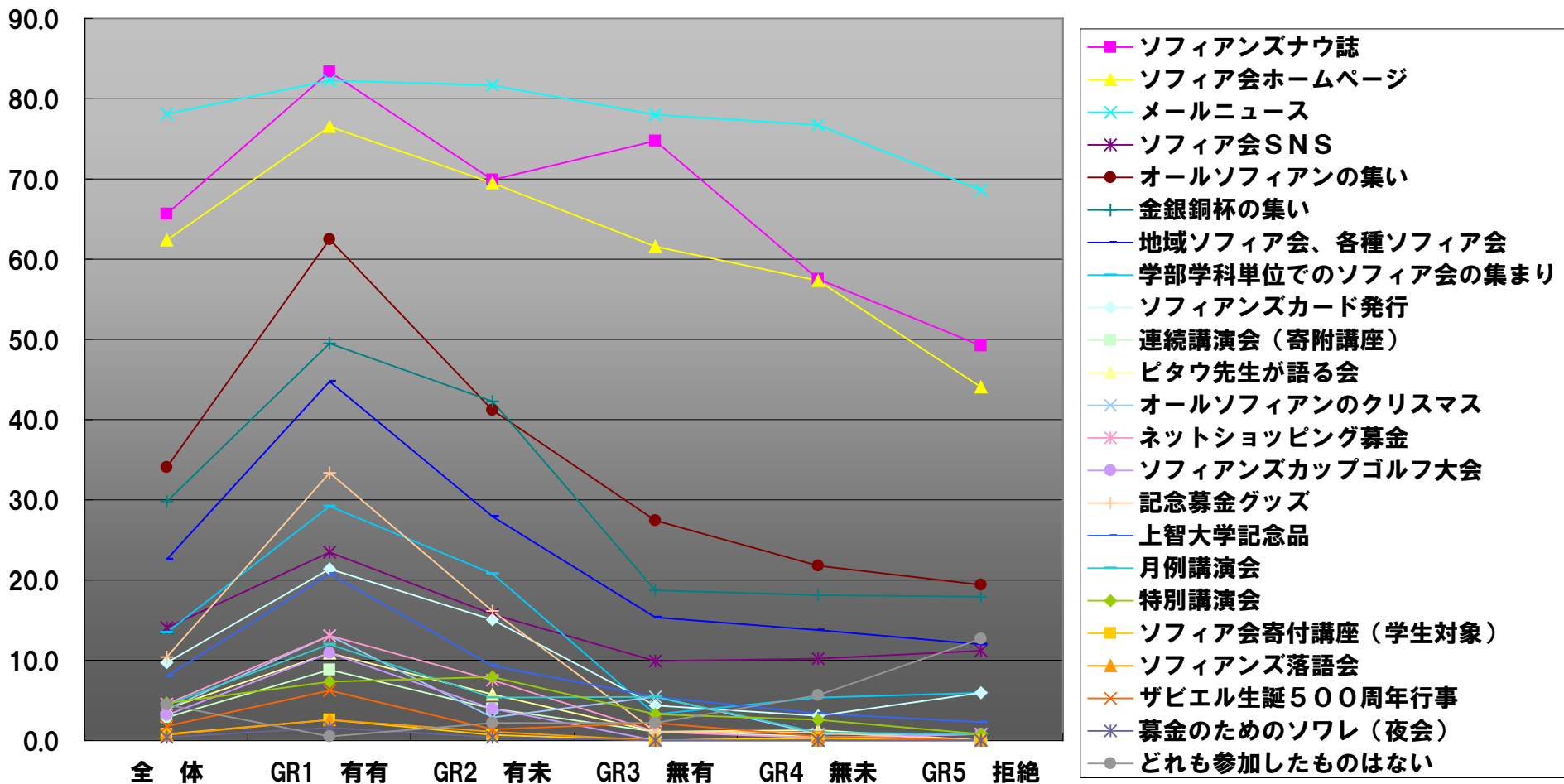
次にあげる上智大学創立100周年記念事業募金活動の形のうち今までにご自分で参加いただいたものがありますか



参加経験募金タイプではグループ1がソフィアンスカード以外はすべてグループ2に勝っている傾向がある。

Q 2 1 参加活動

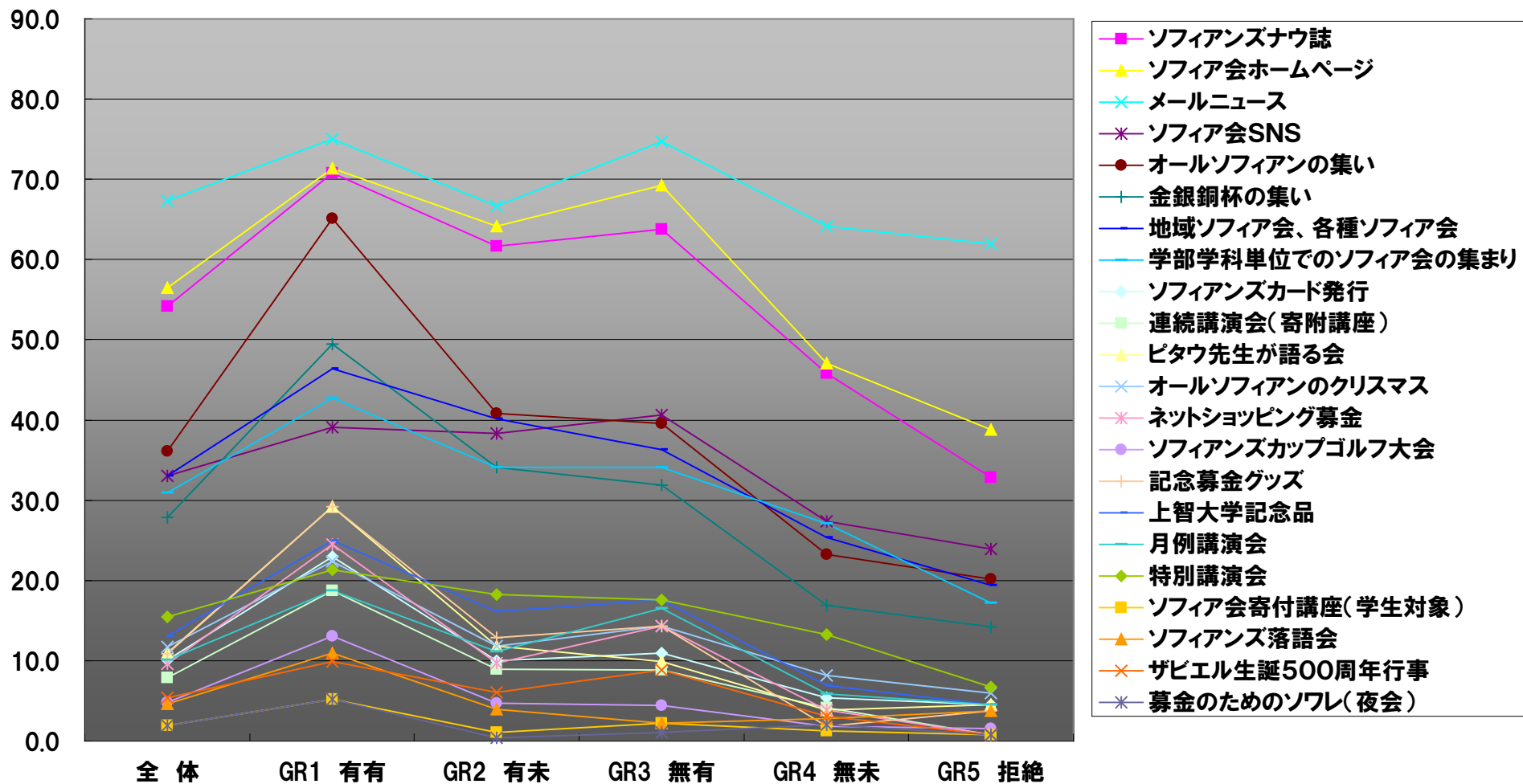
次のソフィア会活動項目のうち、実際にそのサービスを受けたり、利用、参加、購入したものはどれですか。



参加経験活動ではグループ1が高い傾向にあり、グループ2、3、4の順で低下してくる。

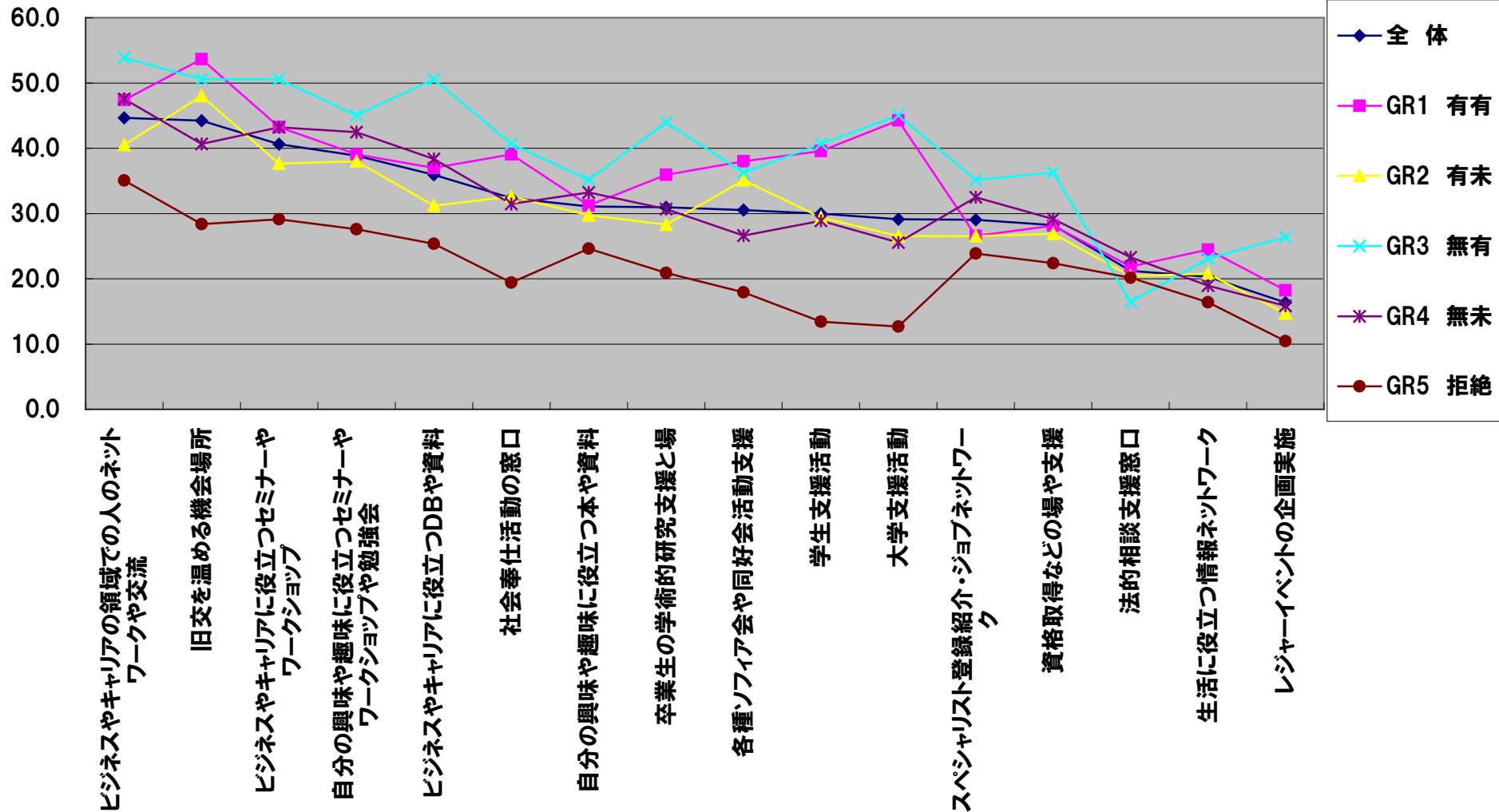
Q22 活動希望

次のソフィア会活動項目のうち今後(も)利用したい、参加したいと思われるものを全てをお知らせ下さい



参加希望活動でもグループ1がすべてにおいて高いと言える。グループ3の希望率も高い。グループ2のへこみが気になる。このグループの活動への希望度合いを上昇させることも課題である。

グループ別 Q6 大学ソフィア会サービス期待



大学やソフィア会のサービスへの期待はビジネスやキャリア関係が高いことがわかった。特にグループ3による期待が高い。一方グループ2は大学、学生支援への期待が比較的薄く、旧交を温める場所への期待が目立った。

サービスに対する意識因子分析:3因子 因子負荷量 バリマックス回転後

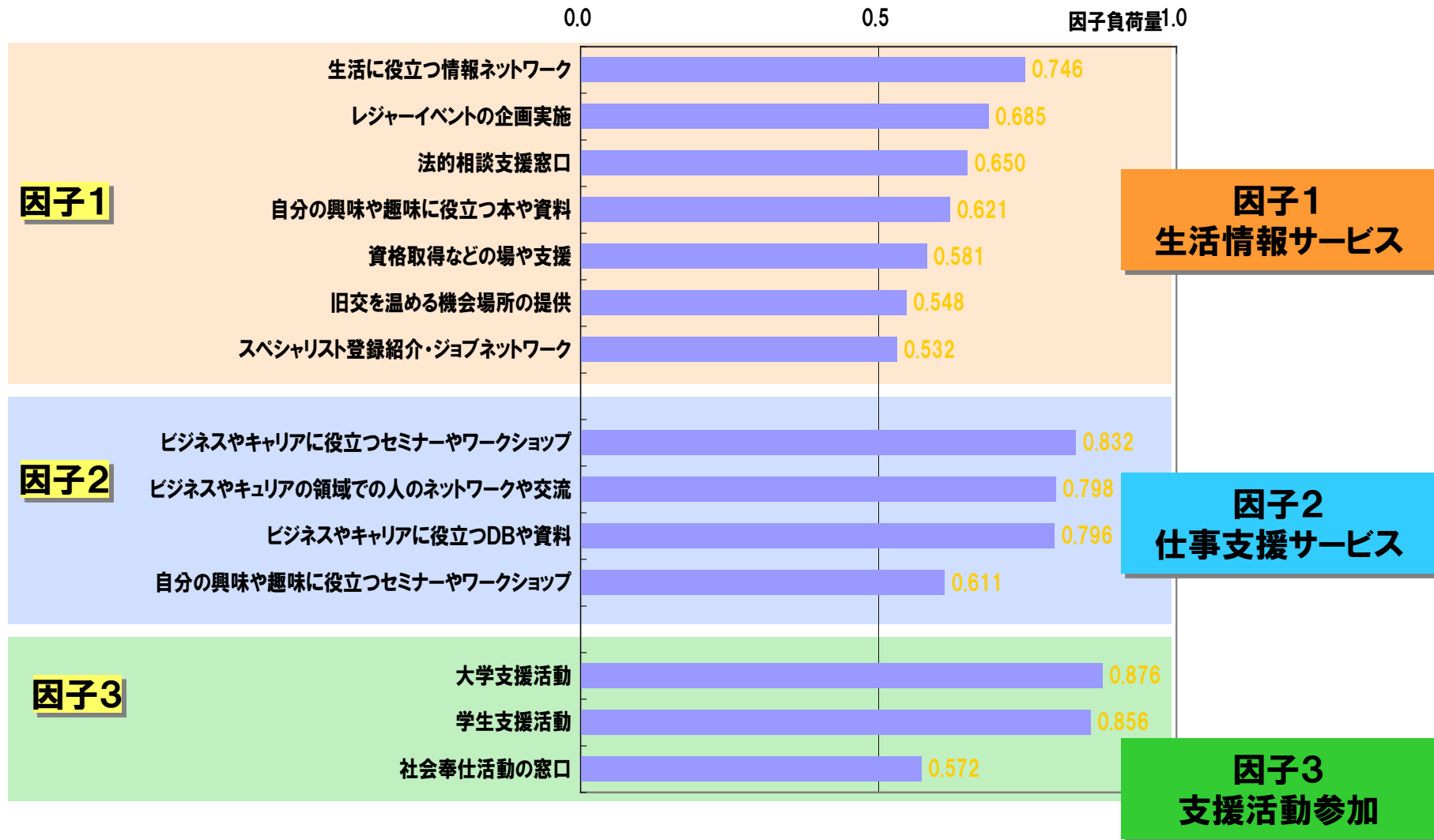
	因子1	因子2	因子3
大学支援活動	0.2568	0.2417	0.8761
学生支援活動	0.2546	0.2865	0.8563
社会奉仕活動の窓口	0.4631	0.3278	0.5725
各種ソフィア会や同好会活動支援	0.5472	0.543	0.4647
卒業生の学術的研究支援と場の提供	0.44	0.5387	0.4048
スペシャリスト登録紹介・ジョブネットワーク	0.5316	348458	0.364
レジャーイベントの企画実施	0.6848	0.187	0.3072
旧交を温める機会場所の提供	0.5476	0.3615	0.3055
ビジネスやキャリアに役立つDBや資料	0.3174	0.796	0.3006
ビジネスやキャリアの領域での人のネットワークや交流	0.2947	0.7982	0.2857
法的相談支援窓口	0.65	0.355	0.2837
ビジネスやキャリアに役立つセミナーやワークショップ	0.266	0.8317	0.2685
資格取得などの場や支援	0.5813	0.5252	0.245
生活に役立つ情報ネットワーク	0.7461	0.2793	0.215
自分の興味や趣味に役立つセミナーやワークショップ	0.5514	0.6114	0.169
自分の興味や趣味に役立つ本や資料	0.6205	0.5442	0.1367

固有値(回転後)バリマックス法

因子No.	二乗和	寄与率(%)	累積寄与率(%)
1	4.154103	25.96315	25.96315
2	4.10983	25.68643	51.64958
3	3.006609	18.79131	70.44089

大学やソフィア会のサービスへの期待をさらに因子分析によって傾向を分析する。因子分析の結果3つの因子に分けられた。

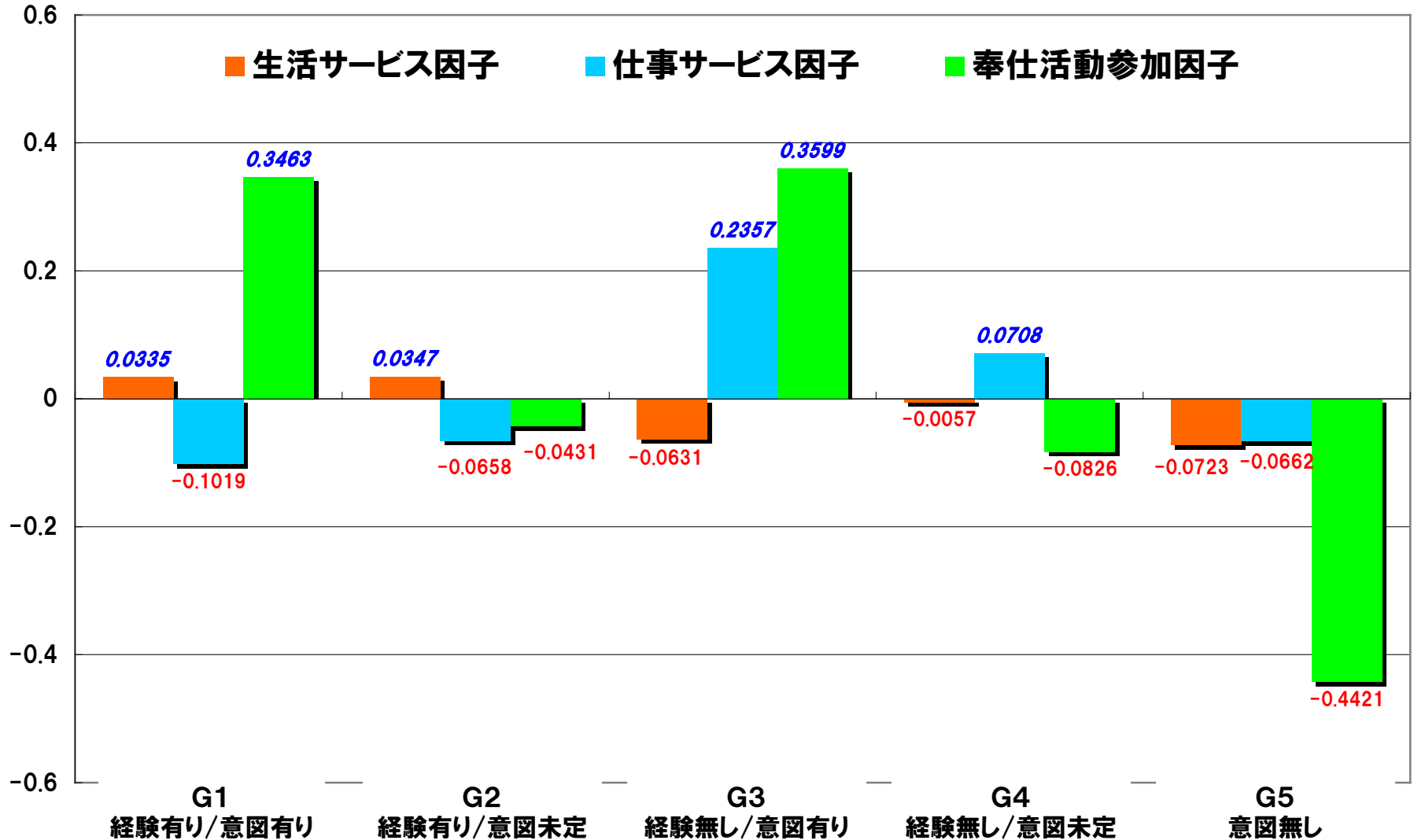
因子分析



大学やソフィア会のサービスへの期待の因子分析の結果の3つの因子を負荷量の高い変数などから解釈して、次の様に定義した。因子1「生活情報サービス」、因子2「仕事支援サービス」、因子3「支援活動参加」とした。

グループ別因子得点

因子得点



これらの3因子を卒業生グループ別に分析、グループ1は「奉仕活動因子」の得点が高く、それらの活動を期待している。グループ3は「奉仕活動因子」とさらに「仕事サービス因子」が高い。グループ4も僅かであるが「仕事サービス因子」への期待がプラスになっている。ビジネスやキャリアに関連するソフィア会等のサービスや活動はこれら3、4のグループの活性化に役立つ要素であろうと思われる。